

(様式— 1) 新潟国道事務所 技術研究発表会 (令和 4 年度)

1	表題 (課題) 名	標識基礎施工における工程短縮について	
2	工事 (業務) 名	阿賀野バイパス標識設置工事	
3	受注者名	株式会社 レックス	
4	工 期	令和 3 年 9 月 11 日 ~ 令和 4 年 12 月 20 日	
5	担当技術者 (立場) 名	現場代理人	(うちやま なおき) 内山 直樹
6	担当主任監督 (調査) 員	専門調査官	
7	課題区分名	⑤施工管理	
8	工事 (業務) 概要	阿賀野バイパス (阿賀野市百津 ~ 下黒瀬地先) において 大型標識 26 基を施工した	

9 【施工における 課題・問題点 等】

本工事は阿賀野バイパスにおける大型標識 26 基の設置工事である。
隣接する舗装工事が 7 工事やその他工事も多く、施工場所も点在し各舗装工事業者の進捗に影響させないよう工程管理・調整が課題となった。

10 【実 施 内 容】

毎週定例会議により、各舗装工事業者・その他施工業者の工程を確認し、支障の無い日程で作業を行った。各施工箇所にて変更が生じた際も、綿密に打合せを行い施工場所・日程を確認しながら調整を行った。

また鋼製杭基礎 (ポールアンカー) での施工も場所によって行い、工程短縮を図った。

11 【実 施 結 果】

各舗装工事の進捗により本工事の工程が変更になることがあったが、標識工事により各工事への影響は無く施工が完了できた。

交差点部の施工短縮が必要な箇所については、鋼製杭基礎での施工もありコンクリート基礎より施工日数を短縮することができ、舗装工事への影響がなく施工を行えた。

(様式—2)

【実 施 内 容 等】

① 各施工業者との工程調整

舗装工事・その他工事と工程打合せを行い、他工事の遅延が無い様、綿密に工程調整を行った。
特に各舗装工事の手戻りが無い様、路盤・舗装作業前に施工が出来るよう重点的に打合せを行った。

工事名：阿賀野バイパス標識設置工事 施 工：機レックス 工 期：令和3年 9月11日～令和4年 8月 31日			令和4年 6月 月間工程表																															令和4年5月31日								
年月日				令和4年5月			令和4年6月																																			
項 目	規格	内容・数量	施工業者	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
				日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木						
大型標識工																																										
舗装その5工事																																										
	ポールアンカー 標識4		日本地工 レックス																																							
	ポールアンカー 標識5		日本地工 レックス																																							
舗装その6工事																																										
	ポールアンカー 標識6	道路測点 No.279+10.0	日本地工 レックス																																							
	基礎Co 標識番号 10	道路測点 No.4+15.0	新万福																																							
	基礎Co 標識番号 11	道路測点 No.9+16.0	新万福																																							
舗装その3工事																																										
	基礎コンクリート 標識番号 13	道路測点 No.403+10	新万福																																							
	基礎コンクリート 標識番号 20	道路測点 No.426+0.6																																								
舗装その4工事																																										
	基礎コンクリート 標識18		新万福																																							
	ポールアンカー 標識19		日本地工 レックス																																							
(調整工事)																																										
備 考				・道の駅周りの標識23,24,27については、7月27日に完了を目標にしている。																																						

月間工程表 (6月度)

(様式—2)

【実 施 内 容 等】

② コンクリート基礎から、鋼製杭基礎への変更

コンクリート基礎による施工に対し、ポールアンカーですと、掘削・型枠数量が格段に少なく、施工日数を短縮することが可能になります。

また、掘削幅の縮小により、舗装工事への影響を縮小することが出来、舗装工事の工程遅延防止につながります。

鋼製杭基礎(ポールアンカー)



鋼製杭基礎打込(0.25日)



型枠設置・コンクリート打設(0.5日)

掘削寸法: W2.5 × L2.5 × H0.3



脱型・埋戻し(養生3日間+0.25日)

累計作業日数 4日

コンクリート基礎



掘削・基礎碎石(1日)



型枠設置・コンクリート打設(2日)

掘削寸法: W3.7 × L5.0 × H1.8
(規格:16Bの場合)



脱型・埋戻し(養生期間3日+1日)

累計作業日数 7日